

衛生研究所WEBページ情報

(アクセス件数・順位 21年度6月分、電子メールによる問い合わせ・追加・更新記事 21年度7月分)

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、1998年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

2008年4月、市民にわかりやすくかつ迅速な情報提供を目指して、リニューアルを行いました。

今回は、2009年6月のアクセス件数、アクセス順位及び2009年7月の電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については行政運営調整局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計しました。

1 利用状況

(1) アクセス件数 (2009年6月)

2009年6月の総アクセス数は、172,946件でした。主な内訳は、感染症55.3%、食品衛生19.5%、保健情報8.7%、検査情報月報3.5%、生活環境衛生2.4%、薬事2.1%でした。

(2) アクセス順位 (2009年6月)

6月のアクセス順位(表1)は、第1位が「マイコプラズマ肺炎について」、第2位が「百日咳について」、第3位が「B群レンサ球菌(GBS)感染症について」でした。

国立感染症情報センターの報告によると、「マイコプラズマ肺炎」は、26週(2009年6/22～6/28)以降、定点当たりの報告数は減少傾向にありますが、過去5年間と比較すると、2006年の同時期に次いで多くなっています。

また、「百日咳」の定点当たりの報告数は、過去5年間の同時期と比較してかなり多くみられており、関心が高かったものと思われます。

3位の「B群溶連菌(Group B Streptococcus :GBS)」は、新生児に重症な感染症を起こすことのある細菌ですが、一般的には病原性が弱く、新生児以外に感染症を起こすことは稀です。

新生児の感染症としては、敗血症や髄膜炎が知られており、発症すると重症となり、生命に係わったり、後遺症を残すことがあります。

病気の進み方も非常に早く、症状が出てからの治療では間に合わない事もあり、分娩時に感染が起こらないように予防する事が必要です。

妊婦健診の検査項目として、公費負担の対象とする自治体もあり、以前よりも妊婦健診の検査項目として普及してきたことが、アクセス数の増加につながっていると考えられます。

表1 2009年6月 アクセス順位

順位	タイトル	件数
1	マイコプラズマ肺炎について	10,814
2	百日咳について	2,520
3	B群レンサ球菌(GBS)感染症について	2,427
4	感染症発生状況	2,354
5	大麻(マリファナ)について	2,151
6	ちょっと専門的なデータシート	2,145
7	性器クラミジア感染症について	2,139
8	梅毒について	2,059
9	サイトメガロウイルス感染症について	1,902
10	性器ヘルペス感染症について	1,831

データ提供:行政運営調整局IT活用推進課

(3) 電子メールによる問い合わせ (2009年7月)

2009年7月にホームページのお問い合わせフォームを通していただいた電子メールによる問い合わせの合計は、4件でした(表2)。

表2 2009年7月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数	回答部署
薬の副作用について	1	衛生研究所
母乳からの感染について	1	衛生研究所
水煮野菜への次亜硫酸ナトリウムの使用について	1	衛生研究所
インフルエンザに関する報道記事について	1	衛生研究所

2 追加・更新記事 (2009年7月)

2009年7月に追加・更新した主な記事は、3件でした(表3)。

表3 2009年7月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
7月1日	感染症に気をつけよう(7月号)	追加
7月7日	ウエストナイルウイルス(蚊)の検査結果	追加
7月21日	高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生状況	更新

【 感染症・疫学情報課 】